

森の家に遊びに来てください



地域 おこしゅカ 🧗 佐藤 有希子 さん

今年の4月に地域おこし協力隊として着任、なべくら高原・森の家と信越トレイルクラブ事務局の業務に携わっています。

日本を代表するバックパッカーで作家の故加藤則芳さんに惹かれ、加藤さんが深く携わった信越トレイルへ通ううちに飯山が好きになりました。そして昨年4月から9月にかけ、信越トレイルのモデルで加藤さんも歩いたアパラチアントレイル(AT:アメリカ三大トレイルの一つ)3,500kmを踏破しました。道行く先々ではたくさんの人たちに助けられ、沿線に根付く本場のトレイル文化を肌で感じました。

飯山は古くからの歴史はもちろん、豊 かな自然と里山の暮らしとのつながりが 強くとても興味深い土地。またそれを随 所で感じられる信越トレイルは、地元 外や海外からの人にとって非常に魅力 的です。雨や霧の日も多いですが、そ の中でのブナ森は幻想的で特に美しい ので、皆さんにもぜひ見て欲しいです。

今後はATで得た経験や縁を活かし、 もっと多くの人たちが信越トレイルに、 飯山に愛着を持ってもらえるような仕組 みを作って盛り上げていきたいです。そ して将来的に信越トレイルのビジターセ ンターである森の家が、ATの本部のよ うに大勢のハイカーでにぎわう場所にし たいです。森の家、市街地からはちょっ と遠いですが、ぜひ遊びに来てくださ い。そして信越トレイルを歩いてみませ んか。お待ちしています。

## 美術館情報

企画展

#### 「木原正徳展 ひとかたち 一野に還る一」

※11月4日まで

美術館では市内太田地区出身の画家・木原正徳さん(1958 ~、二紀会委員、東北芸術工科大学副学長・教授)の企画展を開催中です。この展覧会では、過去約10年間に二紀展へ出品した大作を中心に、個展等で発表した着彩・コラージュ作品など、あわせて約60点を一堂に展示しています。



▲野のかたち人のかたち《光を纏う》 2016年

【お問合わせ】飯山市美術館☎ 62-1501

### 編集後記

この夏は高校生が大活躍でした。飯山高校の野球部や吹奏楽部の皆さんがどんな思いで部活に取り組み何を得たのかをテーマに記事にしました。それぞれにドラマがあり、部活を通じて多くを学んでいることがよくわかりました。特に、歴代3度目となる別冊の中のブログの編集時や選手たちを取材したときに泣きそうになりました。この感動が皆さんに伝われば幸いです。



(左) 二女の由莉(ゆうり) ちゃん(右) 長女の莉奈(りな) ちゃん

bbiso 人気者

# 丸山 明莉 ちゃん

木島地区 4歳0カ月

昨年の12月から2人のお姉ちゃんと長野のダンス教室に通っていて、ダンスが好きという明莉ちゃん。以前行った動物園で、モルモットを抱いたことでモルモットが好きになったといいます。「でも抱っこしたらモルモットが泣いちゃったの。」と当時のことをかわいく話してくれました。「子どもたちには、明るく育ってほしいとジャスミンを連想させる『莉』を3人に付けました。3人仲良く、つながって、助け合って育ってほしいです。」とお母さんは目を細めました。

(智生さん、奈美さんの三女)

#### このコーナーに出てみませんか?

「わが家の人気者」に登場していただける2~4歳ぐらいのお子さんを募集しています。出演していただいた方には写真をプレゼント。市役所事業戦略室情報政策係までご連絡を!(☎62-3111内線387)